

問1 後鳥羽上皇が鎌倉幕府を倒そうとして起こし、幕府がこれを鎮圧した戦いを何という？

1. 承久の乱 2. 宝治合戦 3. 元弘の乱 4. 元寇

問2 鎌倉時代に、承久の乱で朝廷側と戦い、勝利を収めた一族を何という？

1. 平氏 2. 北条氏 3. 藤原氏 4. 源氏

問3 鎌倉幕府の中央に置かれた主要な機関で、政所や侍所と並び、裁判などを担当した組織を何という？

1. 侍所 2. 評定所 3. 問注所 4. 政所

問4 鎌倉時代に制定された、武士社会の決まりごとや裁判の基準を何という？

1. 寺院の戒律 2. 朝廷の古例 3. 公家の教養 4. 武士社会の慣習

問5 武士の気風を反映し、写実的で力強い特徴を持つ、鎌倉時代に栄えた文化を何という？

1. 国風文化 2. 鎌倉文化 3. 天平文化 4. 室町文化

問6 北条泰時が制定した、日本最初の武家法の別名を何という？

1. 貞永式目 2. 公事方御定書 3. 建武式目 4. 御成敗式目

問7 元軍の再来に備えて、北条時宗が博多湾岸に築かせた防壁を何という？

1. 引付衆 2. 守護代 3. 石築地 4. 検地帳

問8 法然が庶民に信仰を広めた、死後の安らかな世界を何という？

1. 解脱 2. 涅槃 3. 極楽 4. 浄土

問9 1221年に、朝廷の権力を取り戻すために鎌倉幕府を倒そうと挙兵した人物は誰？

1. 後深草天皇 2. 後鳥羽上皇 3. 後白河上皇 4. 後醍醐天皇

問10 鎌倉幕府において、将軍から領地の所有権を認められるなどの恩恵を何という？

1. 御恩 2. 軍役 3. 奉公 4. 年貢

問11 イタリア出身の旅行家で、フビライ・ハンに仕え、日本を『黄金の国ジパング』としてヨーロッパに紹介したのは誰？

1. イブン・バットウータ 2. マテオ・リッチ 3. マルコ・ポーロ 4. ザビエル

問12 十字軍の遠征が活発に行われた時期は、日本の歴史ではどの時代にあたる？

1. 平安時代 2. 室町時代 3. 江戸時代 4. 鎌倉時代

問13 元寇に備えて博多湾岸に築かれた、石造りの防壁を別名で何という？

1. 防塁 2. 土塁 3. 石築地 4. 水城

問14 鎌倉幕府が、年貢の徴収や土地の管理、治安維持のために各地に置いた役職を何という？

1. 守護 2. 地頭 3. 執権 4. 評定衆

問15 「（空欄）…、諸行無常の響きあり」という一節で始まる、平氏の滅亡を描いた物語を何という？

1. 吾輩は猫である 2. 月日は百代の過客にして 3. 祇園精舎の鐘の声 4. 春はあけぼの

問16 鎌倉時代、幕府の打倒をめざして挙兵し、敗れて隠岐に流された人物は誰？

1. 後白河上皇 2. 崇徳上皇 3. 後醍醐天皇 4. 後鳥羽上皇

答え合わせ・解説

問1	答え 1 承久の乱	1221年、後鳥羽上皇は幕府を倒すよう命じましたが、北条政子の演説で結束した幕府軍が京都へ進軍し、朝廷軍を撃破しました。この勝利により、幕府の権力は決定的なものとなりました。
問2	答え 2 北条氏	承久の乱が起こると、執権・北条義時のもとで幕府軍は京都へ進撃しました。北条政子の演説で御家人を鼓舞し、勝利を収めたことで、全国的な支配体制が確固たるものになりました。
問3	答え 3 問注所	問注所は、鎌倉幕府の中央機関の一つで、主に御家人の訴訟や裁判、書類の管理を担当しました。侍所が軍事・警察を、政所が一般政務を担当したのに対し、問注所は法律に基づく冷静な判断を行う機関として、幕府の権威を高める役割を果たしました。
問4	答え 4 武士社会の慣習	それまで武士の間で行われてきた「武士社会の慣習」を基に、裁判の基準が文章化されました。それ以前の京都の朝廷が用いていた律令は、貴族社会には適していても、土地に執着する武士の日常的な紛争を解決するには複雑すぎました。そのため、公平で分かりやすいルールが求められたのです。
問5	答え 2 鎌倉文化	鎌倉文化は、武士の気風や、新しく起こった仏教の影響を受けています。彫刻では写実的で力強い表現が、文学では『平家物語』のような軍記物語が人々に親しまれました。また、禅宗の影響を受けて、簡素で力強い美意識が確立されたのも大きな特徴です。
問6	答え 1 貞永式目	この時に制定された法律は「御成敗式目」として知られていますが、制定された年号をとって「貞永式目」とも呼ばれます。貴族の慣習ではなく、武士たちの間に蓄積されてきた慣習を尊重したのが特徴で、武士だけでなく、当時領地を管理する上で法的保護を必要としていた人々にとっても重要な指針となりました。
問7	答え 3 石築地	執権・北条時宗は、博多湾の海岸線に沿って高さ約2メートルにも及ぶ石の壁、石築地（元寇防塁）を築かせました。これは騎馬武者が元軍の上陸を食い止めるための強固な障壁として機能し、後にくる元軍の再襲来（弘安の役）で大きな効果を発揮しました。
問8	答え 4 浄土	浄土とは、阿弥陀仏が治める、迷いや苦しみから解放された極楽世界のことを指します。法然は、この浄土へ生まれ変わることを願い、ひたすら念仏を唱えることが重要だと説きました。この信仰は、現世の不平等に苦しむ人々にとって、唯一の救いとしての意義を持っていました。
問9	答え 2 後鳥羽上皇	後鳥羽上皇は、北条義時追討の院宣を出し、倒幕を試みました。しかし、北条政子の演説により結束を強めた幕府軍の反撃にあい、上皇側は敗北しました。
問10	答え 1 御恩	御恩とは、将軍が御家人に対して行う経済的・地位的な保護のことです。主なものとして、先祖伝来の土地の所有を認める「本領安堵」や、手柄を立てた者への「新恩給与」がありました。これに対し、御家人は軍役（戦いの際の兵士としての務め）や京都・鎌倉の警備などの奉公を果たす必要がありました。
問11	答え 3 マルコ・ポーロ	マルコ・ポーロはベネチアの商人・旅行家で、元のフビライ・ハンに長く仕えました。帰国後に執筆した『東方見聞録』の中で、日本を「黄金の国ジパング」として紹介しました。これを見たヨーロッパの人々は、海路によるアジアへの関心を高めることとなりました。
問12	答え 4 鎌倉時代	十字軍が始まった1095年は日本で院政期（平安時代末期）にあたりますが、戦いが本格化した12世紀から13世紀にかけては、ちょうど鎌倉幕府が成立し、発展していく時期にあたります。
問13	答え 1 防塁	防塁（石築地）は、博多湾岸に長さ約20kmにわたって築かれた石の壁です。これにより、元軍の得意とする騎馬戦術や集団行動を封じ込め、日本軍が待ち伏せや遠距離からの弓矢攻撃を行いやすい環境を作りました。鎌倉幕府の組織力と御家人の動員力が発揮された代表的な防衛事業です。
問14	答え 2 地頭	地頭は、荘園や公領において年貢の取りまとめや土地の管理を行いました。また、治安維持や裁判の補助を行う警察的な役割も担うようになり、次第に現地の武士として強い権力を持つようになりました。
問15	答え 3 祇園精舎の鐘の声	『平家物語』は、この冒頭のフレーズが示す通り、栄えたものも必ず衰えるという「諸行無常」の思想を根本に置いています。鎌倉時代に成立したこの物語は、個人の生きざまや戦の悲哀を鮮明に描き、当時の文学としての到達点を示しました。
問16	答え 4 後鳥羽上皇	1221年、上皇は全国の武士に対して幕府討伐の院宣を出し、挙兵しました。これが「承久の乱」です。しかし、北条政子らの主導により幕府軍が迅速に対応したため、朝廷側は敗北しました。その結果、首謀者である後鳥羽上皇は隠岐へ流されることとなりました。